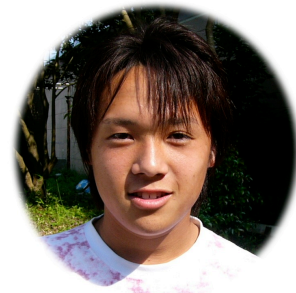


在校生の声

私達と一緒に
学びませんか！



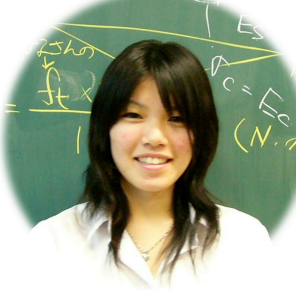
環境都市工学科
鈴木 和 (九十九里中)

高専には自分のやる気を満たしてくれる自由があり、とても充実した生活を送れる学校です。他の学校よりも勉強は大変かもしれませんが、楽しいこともいっぱいあります。部活や同好会は50以上もあります。校舎は冷暖房が完備されていて、食堂と売店もあってかなり便利です。また、ユニークな先生が多く楽しいです。皆さんが高専に入学するのを楽しみに待っています。



環境都市工学科
小峰 佳也乃 (久寺家中)

高専では、一般科目と専門科目の両方を学びます。コンクリートの実験や測定の屋外実習を通して、本格的に専門科目を学び始めます。授業外では部活動も盛んです。私は女子ホッケー部に入っていて、放課後は楽しく活動しています。また、私は女子寮にも入ってます。皆仲よく、毎日の生活を通じて、他の学科や違う学年の人とも交流を深めています。



環境都市工学科
河津 恵美 (姉崎中)

私は2年生から学友会に所属しています。学友会は、生徒会のような組織ですが、ほとんどのことを学生が自分達で決めて実行しています。他の高専との交流会などもあり、活発に活動しています。私もこの高専に入って世界が広がったような気がしています。高専は少し特殊な学校ですが、視野を拡げて見ると、また違って見えて楽しいですよ。



環境都市工学科
藤平 淳 (大貫中)

私は昨年の特別研究で、たたら製鉄に取り組みました。砂鉄から日本刀の刃の原料となる玉鋼を作り出すことにチャレンジする授業です。歴代続いていましたが、私達の代で、ついに「木更津高専方式」を確立することに成功しました。7月には学会発表も予定しています。私は、高専だからこそ、これができたと思います。他では味わえないものが、高専には沢山あります。



環境建設工学専攻
須藤 泰幸 (四街道西中)

高専の5年間は間違いなく「あっという間の5年間」です。皆充実した毎日を送っています。忙しい学業のなか、皆で設計から施工まで仕上げたアーチ橋は私の1番の思い出です。また、見学旅行で訪れた世界遺産の屋久島では、改めて環境問題について考えさせられました。私は、環境都市工学科は「私たちにとって大切なことを肌で感じる事が出来る場所」だと思います。

木更津工業高等専門学校

環境都市工学科

～“地球市民”の育成を目指して～



独立行政法人 国立高等専門学校機構
木更津工業高等専門学校 環境都市工学科
Department of Civil and Environmental Engineering
Kisarazu National College of Technology

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東2丁目11番1号
TEL: 0438-30-4000
FAX: 0438-98-5717
URL: <http://www.kisarazu.ac.jp/~civil/>

“地球市民” を育てる学科

環境都市工学科は、従来の土木工学をベースにしながら、近年クローズアップされている環境問題にも対応できる豊かな創造力と倫理観をもった技術者の育成を目標として、平成6年4月に改組し、生まれ変わりました。平成13年4月には、専攻科として環境建設工学専攻も開設され、ますます充実した教育体制が整ってきています。

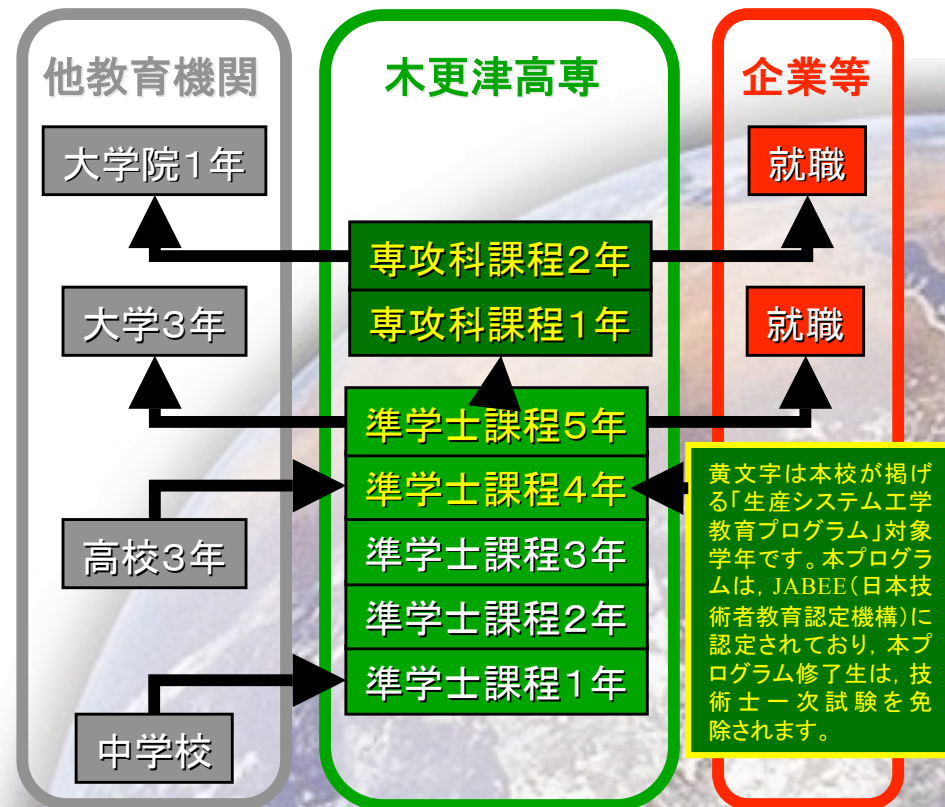
“人々の安全で快適な生活を支える都市建設の重要性を認識しながら、自然環境との調和を考える”矛盾しがちな2つの考えの両立を目指し、真に豊かな地球の未来を創造できる「地球市民」を育てたい。環境都市工学科は、明日の地球市民となる皆さんのチャレンジを持っています。

充実のカリキュラム ・実践的教育

環境都市工学科では、社会の要求を意識したカリキュラムが組まれています。数学や英語などの一般科目はもとより、専門科目は、都市系では、構造力学、水理学、土質力学、測量学、コンクリート工学、橋工学など、また環境系では、上下水道工学、水環境学、生態環境工学、環境計画学など、充実した内容となっています。

さらに、それぞれの科目について、実験・実習といった少人数制の実践的授業がセットされており、座学で学んだ「知識」を、体験を通じて「知恵」に進化させるまでの“熱い”指導体制が整えられています。

皆さんが将来、人々の安全や生活を支える責任ある技術者として成長するために、我々教職員一同が全力で応援します。



木更津高専の構成および入学・進路の流れ

※準学士課程卒業で「準学士」の学位が、専攻科を修了し大学評価・学位審査機構の審査を経て「学士」の学位が取得できます。また、環境都市工学科では卒業後の申請のみで測量士補の資格などが取得できます。



水理実験



測量実習



環境工学実験



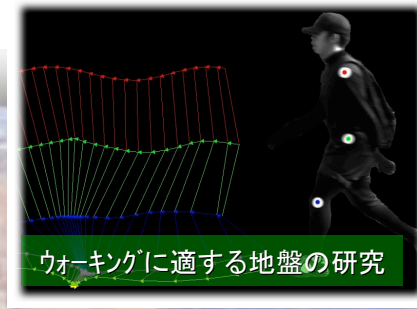
環境都市工学概論



CAD室での授業



教室風景



ウォーキングに適する地盤の研究



里山生物保護の研究



卒業研究発表会



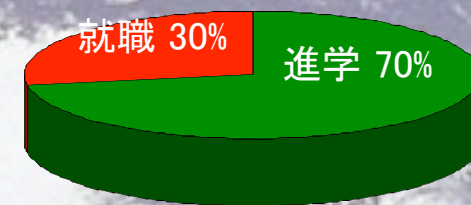
屋久島見学旅行



コンクリートカーナー大会



体育祭



主な就職先

東海旅客鉄道、東京電力、京急建設、道路建設コンサルタント、国土交通省、日鐵テクニサーチ、環境エンジニアリング、君津住宅、セコム、チッソエンジニアリング、日揮プランテック、ヤフー 等

主な進学先

木更津高専専攻科、千葉大学、東京大学、東京工業大学、首都大学東京、東京海洋大学、横浜国立大学、北海道大学、信州大学、茨城大学、群馬大学、宇都宮大学、山梨大学、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、日本大学、東京理科大学、千葉工業大学 等

卒業生の進路割合と主な進路先 [02 - 07年度総合]

おおくぼ つとむ
～がんばれ！卒業生～大久保 努 君

気温47℃を記録する灼熱地獄。無風でエアコンもなく、下水の臭い漂うインドのとある下水処理場。そこが今の住所である。大学の実務訓練制度を利用して生活の場をインドに移し、開発途上国の水事情を少しでも改善しようと日タイ人と言い争う毎日である。キングコブラが威嚇してくればホッケ一部時代に鍛え上げた豪腕でスティックを振り回し、大トカゲが捕獲されればカレーに調理し、果実が実ればそれを食す。郷に入っては郷に従えの世界である。とにかく、やってみなはれ。やる前から諦める奴は、一番つまらん人間だ。
(01年度卒)

多彩な研究・ 魅力のイベント

環境都市工学科では、4・5年生になると卒業研究が始まります。それまでに学んだ知識と経験をもとに問題を設定し、それを解決するための計画から方法まで「自主導」で研究を進めていきます。研究成果は、校内の発表会だけでなく、外部の学会等においても発表できます。

一方、授業や研究以外にも、コンクリートカーナー大会や体育祭など記憶に残るイベントが多数用意されています。中でも4年生で行われる「見学旅行」では、屋久島など普段見ることのできない豊かな自然を目の当たりにし、未来の地球のあるべき姿を考える機会としています。

多彩な研究・魅力的なイベント。環境都市工学科では「教科書では学べない何か」を一層大切にしています。

就職・進学に 幅広い可能性

環境都市工学科を卒業した後の進路は、多種多様です。

近年は、要求される技術の高度化や高学歴傾向の影響を受けて進学率が高くなっています。主な進学先は、木更津高専専攻科をはじめ、国公立大学、私立大学が中心です。大学の場合、学部3年生に編入という形となり、入試形態や単位認定において有利なこともあります。

就職においても、一般の大学や高校に比べて高い求人倍率および就職率を維持しています。近年では、一度就職して実社会を経験した後、高い技術と志をもって、大学進学や公務員等への転職を選ぶ卒業生も増えています。

「確かに厳しい。しかし、厳しいからこそチャンスがある。やりがいのある業界なので、ぜひ飛び込んできて欲しい」ある建設会社幹部の言葉です。